

みどり市こども未来基金事業(こども施策)第2弾

令和7年度の最重点施策である、みどり市の将来を担う「こども」のための施策について、実施を予定している新規2事業をお知らせします。

■ 令和7年度 実施予定事業

①保育料・給食費の完全無償化 ※県内12市初の取組

- ・子育て世帯の経済的負担を軽減するため、「第1子から」「保護者の所得制限なし」で保育所等に通う子どもたちの保育料・給食費の完全無償化を実施します。

②保育士等の給与改善 ※県内市町村初の取組

- ・市内に所在する保育所、認定こども園、幼稚園(全13施設)に勤務する職員に対して、1人当たり月2万円(東町に所在する「ちえのみ保育園」は月5万円)を給与に上乗せします。

■ 事業の検討経過

- ・子育て世帯へのアンケート調査
- ・保育所等からの要望事項を確認
- ・庁内検討会議による検討(全庁を挙げたこども施策の検討)

※詳細は、別紙を御確認ください。

問い合わせ

みどり市 保健福祉部 こども課

TEL 0277-76-0995

Email kodomo@city.midori.gunma.jp



▶みどり市こども未来基金事業（こども施策）について

1 経緯

- ・令和6年6月、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりや教育の充実を推進するとともに、未来を担う子どもたちの健やかな成長に資する事業の経費に対し、ポートレース収益金をその財源とするべく、**「みどり市こども未来基金条例」**を設置いたしました。

2 基金活用事業の検討について

（1）庁内における検討（令和6年4月～11月）

- ・令和6年4月、全庁を挙げたこども施策の検討のため、庁内検討会議を立ち上げ、みどり市における現状把握と課題認識を行い、今後の施策展開の方向性を検討を開始しました。

<見出された課題>

①出生率の低下（自然減）

- 婚姻件数の減少、初婚、出産年齢の上昇
- 結婚しても産まない人の増加

- ・物価高騰などによる経済的不安
- ・生活費の増加（賃金の低さ）による結婚・出産へのハードル
- ・仕事と子育ての両立による負担増
- ・働く女性、キャリア志向の女性の増加
- ・出会いの機会、場所が不足

②転出超過（社会減）

- 進学・就職時の転出
- 結婚などを機に転出

- ・将来を見据えた際のまちの魅力（仕事や生活環境など）の不足
- ・若年層の市内、周辺企業に対する認識不足、企業側の魅力のPR不足

<ワーキングの様子>



（2）市民や子ども達の意見を踏まえた検討

- ・市民委員などで構成される「みどり市子ども・子育て会議」や「みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」において、みどり市の現状や課題、今後期待する取組などについて意見交換を実施しました。
- ・さらに、「こどもみらいミーティング」を開催し、市内の小中学生・高校生・大学生と市長の意見交換を実施しました。
- ・子どもたちの思い描くみどり市の将来像や、学校生活に「あるといいこと」など活発な意見が出されました。

<こどもみらいミーティングの様子>



意見

▶体育館にエアコンが欲しい

▶誰でも集まれる【学べる・遊べる】場所が欲しい

など

3 事業概要（案）

令和 **7** 年度 **最重点施策**
(みどり市の将来を担う「こども」のための施策)

- ▶「出産・子育て環境及び教育環境の充実に向けたこども未来施策」として、みどり市の将来を担う子ども達に向けた「こどものための施策」を最重点に置き、組織体制も整備しながら、他市にはない、みどり市ならではの「結婚・出産・子育て・教育までの切れ目のない支援」の充実を図ります。
- ▶こどもと地域の元気を結びつけながら、「安心して子どもを産み育てやすいまち」、「住んでみたいまち・住み続けたいまち」を目指した事業展開を推進することとします。

第1弾

- ①市内全ての小中学校へのエアコン設置（12月補正）
- ②全天候型の屋内遊び場の整備
- ③旧笠懸幼稚園を活用したこどもの居場所づくり

第2弾

子育て
したくなる街
👑 **NO.1**
を目指します！

① 第1子から対象

保育料・給食費の完全無償化

② 給与に上乘せ

保育士等の給与改善

みどり市なら、こんなに充実！切れ目のない子育てサポート

01. みどり市なら、子育てにかかる経済支援が『充実』！

子どもが2人の場合...最大○円もの差が！

県内トップの子育て支援！

▶〇〇事業

イメージ図

▶〇〇事業

県内
12市初

▶保育料・給食費無料！



第1子から
所得制限なし！

保育園・幼稚園等に通う子どもたち(0歳児～5歳児)にかかる
保育料および給食費を完全無償化！

▶小・中学校給食費無料！

▶高校生まで医療費無料！

保育園の保育料・給食費の支援だけで
約143万円/1人あたりを支援！

▶保育士等給与改善事業！（人材確保・就労定着・離職防止）

県内
市町村
初

02. みどり市なら、こどもの居場所・遊び場が充実！

▶屋外大型公園の整備



▶屋内遊び場整備



▶こどもの居場所づくり



03. みどり市なら、こどもの未来を育む「まなびの場」が充実！

▶市内小・中学校の体育館全てにエアコン設置！



エアコン設置イメージ



笠懸西小学校（R4開校）

▶みどり市こども未来基金事業(こども施策)第2弾

令和7年度新規事業「保育料・給食費の完全無償化」・「保育士等の給与改善」について

1 現状把握・課題点

(1)子育て世帯(就学前児童のいる世帯)

令和6年1月～2月に実施したアンケート結果より

(問)行政に対して、今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか？

保育料や教育費などの子育てにかかる
経済的負担の軽減 72.9% **第1位**

天候に左右されることなく子どもが遊べる
屋内の遊具施設 70.4%

子どもが遊べる公園などの屋外施設 69.2%

⋮

⋮

(2)保育施設(受入施設)

市への要望事項(要望書・施設長への聞き取り)

- ・ 3歳未満児の保育料の軽減
- ・ 給食費の無償化
- ・ 保育士の新規採用・就労定着の支援 など

慢性的な保育士不足

※特に東町にある「ちえのみ保育園」では地理的な要因等から
新規採用が難しい状況

経済的負担(保育料・給食費)の軽減

両方の課題解消が必要

保育施設(受入施設)の職員確保

2 事業提案(案)

みどり市の未来
を切り拓く！

令和7年度 最重点施策(みどり市の将来を担う「こども」のための施策)

県内12市初



第1子から対象・保護者の所得制限なし！

①「保育料・給食費の完全無償化」

県内市町村初



職員1人あたり月2万円
(ちえのみ保育園職員のみ月5万円)を給与に上乗せ！

②「保育士等の給与改善」

3 事業概要 ①「保育料・給食費の完全無償化」

事業内容

現在、保育所等に通う児童に対し、国の幼児教育・保育無償化に加え、市独自施策として第3子以降の子どもを対象に、3歳未満児の保育料無償化及び3歳以上児の副食費無償化を実施しています。

令和7年度から、子育て世帯の経済的負担をさらに軽減するため、子どもの人数、保護者の所得にかかわらず、保育所等に通う子どもたちの保育料・給食費(副食費・主食費)の完全無償化を実施します。

※特別保育(延長保育・病後児保育等)、教材費などは従来どおり保護者負担となります。

事業実施による経済的負担の軽減額(目安)

子ども1人が保育所を卒園するまでの費用

(生後2か月入所で卒園までの場合)

約143万円 → 0円

<内訳>

保育料(0歳～2歳児) 約122万円

給食費(3歳～5歳児) 約21万円

対象となる児童

みどり市在住で、市内外の保育所、認定こども園、幼稚園等に通う児童

※保育料無償化の対象児童は、国の子ども・子育て支援制度における「保育の必要性のある子ども」となります。

保育の必要性とは…

保護者の就労、求職活動、疾病、介護、看護、就学などの理由により、家庭で子どもを保育できない場合を指します。



現在

費用区分		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保育料		約122万円 ※1 有償			無償 ＜国の幼児教育・保育無償化＞		
給食費	副食費 (おかず等)	＜保育料に給食費が含まれる＞			※2 第3子以降は無償		
	主食費 (ご飯代)						
		約21万円 ※1 有償			有償		

R7年度～

費用区分		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保育料		無償			無償 ＜国の幼児教育・保育無償化＞		
給食費	副食費 (おかず等)				無償		
	主食費 (ご飯代)				無償		

※1 保護者の経済的負担額(目安)【生後2か月入所～卒園の場合】

※2 市独自施策として、18歳以下の多子世帯の第3子以降の子どもは無償

4 事業概要 ②「保育士等の給与改善」

事業内容

令和 7 年度から実施する保育料・給食費の完全無償化により、教育・保育ニーズの増加が見込まれることから、保育士等の給与に上乗せとなる補助を行うことで、施設の受入体制を強化する。

補助内容

職員 1 人あたり 月20,000円 ちえのみ保育園(東町)職員のみ 月50,000円

対象となる職員

みどり市内に所在する保育所、認定こども園、幼稚園(全 13 施設)に勤務する全職員で、月 120 時間以上勤務する者

【参考:国定義】

月 120 時間以上勤務する者 = 常勤保育士

市内保育士 月額本俸比較(事業実施前後) <令和 6 年 10 月こども課調査>

	市内平均 (ちえのみ保育園除く)	ちえのみ保育園	近隣市平均
	(実施前) (実施後)	(実施前) (実施後)	
新規採用	163,575 円 ⇒ 183,575 円	152,000 円 ⇒ 202,000 円	170,213 円



<慢性的課題>
保育士不足

<新規課題>
教育・保育ニーズ増

<対策>

保育士等の給与改善

人材確保
就労定着
離職防止